

古河市合併15周年 開館30周年記念 特別展示

# 國宝參上

A National Treasure Returns Home

—鷹見泉石像と古河ゆかりの文化財—

Portrait of Takumi Senshi and Cultural Properties of Koga

天保精年 滅更望日  
鷹見泉 波遠主

2021.  
1/9 ㈯ - 2/7 ㈰

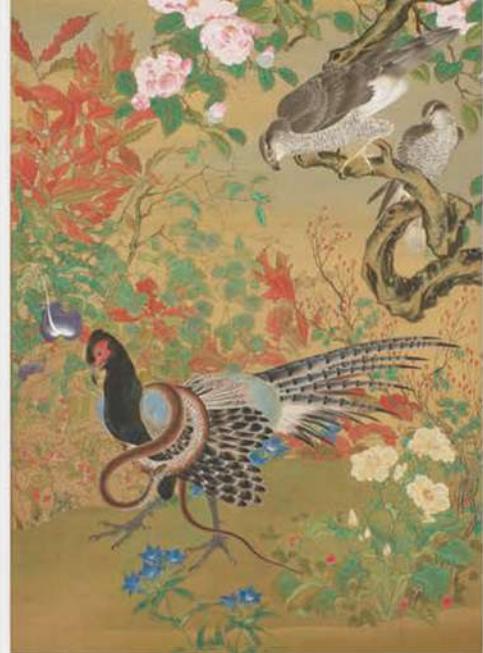
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)  
休館日 1月12日(火)・22日(金)  
入館料 一般 400円(団体20名以上300円) 小中高生 100円  
主催 古河市 古河歴史博物館  
特別協力 国立文化財機構・文化財活用センター・東京国立博物館  
助成 文化庁【令和2年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業】



古河歴史博物館

〒306-0033 茨城県古河市中央町3-10-56 TEL 0280-22-5211 FAX 0280-22-5215

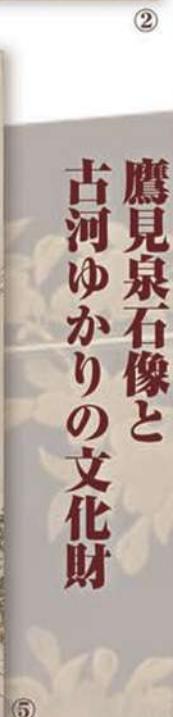
古河歴史博物館 検索



③



## 鷹見泉石像と 古河ゆかりの文化財



2021.1/9(土) - 2/7(日)

令和2年度は古河歴史博物館の創立30周年にあたります。そこで本年、東京国立博物館に収蔵される古河ゆかりの文化財の一部を公開することになりました。いずれ劣らぬ逸品たちは、わがまち古河の多様な歴史や文化を表現してくれるものばかり。

国宝「鷹見泉石像」は、昭和13年（1938年）、東京帝室博物館本館（東京国立博物館本館）こけら落としの目玉作品にと、古河から上野に迎えられたもので、およそ83年ぶりに古河へ里帰りします。また、法華經を護る神である七面天女と日蓮聖人が邂逅する奇譚を描いた「七面大明神応現図」は、古河市内の妙光寺に伝来する葛飾北斎の自筆作品。同寺に滞在して描いたと伝えられ、現在は上野に寄託されています。

土井家のお姫さまが愛用した化粧道具一式や古河城から出土した板碑、洪水で洗われた土中に姿をみせた埴輪「大刀をもつ男子」など、見どころ満載の展覧会へぜひお誘いあわせのうえご来館をお願いいたします。



古河歴史博物館

Koga City Museum of History

◆新型コロナウイルス感染症対策のため、ご来館の際には、マスクの着用、検温、手指の消毒等にご協力をお願いします。

休館日 1月12日(火)、22日(金)

入館料 大人400円 小中高生100円 団体(20人以上)300円

開館時間 9:00-17:00(入館は16:30まで)

〒306-0033

茨城県古河市中央町3丁目10-56

電話0280-22-5211 fax0280-22-5215

①～⑧ 東京国立博物館所蔵 ② 妙光寺所蔵  
画像提供 Image: TNM Image Archives



④



⑥



⑦

- ① 渡辺寧山「鷹見泉石像」天保8年(1837) 国宝
- ② 葛飾北斎「七面大明神応現図」弘化4年(1847)
- ③ 河鍋暎斎「花鳥図」明治14年(1881)
- ④ 若松桜絵化粧道具 江戸時代・18世紀
- ⑤ 奥原晴湖「山水図」明治7年(1874)
- ⑥ 白猪空穂 江戸時代・19世紀
- ⑦ 茨城県古河市出土「埴輪 大刀をもつ男子」古墳時代・6世紀
- ⑧ 雪華園説 天保3年(1832)